

国際会議を終えて

情報工学府情報システム専攻D3 三宅 庸資



はじめに

平成26年11月16日から19日に、中国の浙江省杭州市で開催された国際会議「The IEEE 23rd Asian Test Symposium (ATS14)」に参加し、研究発表を行いました。

世界遺産の西湖

杭州には世界遺産として登録された「西湖（せいこ）」が存在します。杭州は貿易港として栄えた古都であり、西湖周辺には自然に調和した美しい建造物が多数存在するため、それらの文化的背景を基に、「杭州西湖の文化的景観」が世界遺産（文化



西湖の風景

遺産)として登録されました。全体を眺めながら歩いていると、西湖は福岡市にある大濠公園に似ていると感じられ、後日調べた結果、大濠公園はこの西湖の造形を模して造られたことを知りました。地元福岡との思いがけない繋がりを発見し、感慨深い思いをしました。

発表を通して

私の研究はVLSIのフィールド高信頼化のため、VLSIの微細化に伴



発表の様子

い問題となる回路劣化による故障、その対応策として有効なフィールドテスト手法に利用する温度・電圧モニタ回路の研究を行っています。今回は「Temperature and Voltage Estimation Using Ring-Oscillator-Based Monitor for Field Test」という題目で研究発表を行いました。チップ内部の温度と電圧を同時に計測可能なモニタ回路の実装と、製造ばらつきに対応可能である高精度な温度・電圧推定手法について提案しました。そして、回路シミュレーションだけでなく、実際に試作したチップを用いて、提案したモニタ回路の有効性を検証しています。

今回の英語での発表は2回目です。

たので、1回目の時よりは上手く話せたと思います。しかし、質疑応答では残念ながら上手く答えることができず、非常に悔しい思いをして、圧倒的な英語力不足を痛感させられました。そして、語学力の必要性を改めて認識しました。幸いにも質問者のひとは日本人の方で、発表後に質問してくださった教授と意見交換を行うことができました。そして、私の研究に対するアドバイスなど、今後の研究を進める上で、非常に有益な御意見をいただくことができました。

おわりに

今回の国際会議を通して、今後につながる大変貴重な経験を積むことができました。また、研究に関することだけでなく、現地の文化に触れ、学生との国際交流、観光等を行うことで、とても貴重で有益な経験を積むことができました。

国際学会に参加するにあたり、奨学金を援助していただいた明専会に深くお礼を申し上げます。また、終始御指導を賜った梶原誠司教授に心より深く感謝致します。